

県債現在高について

平成21年度当初予算の県債発行予定額は1,432億7,700万円ですが、これに平成20年度からの繰越分を加えると1,496億9,900万円となり、その結果、県債現在高は平成21年度末で1兆1,854億2,200万円となる見込です。

県債の状況

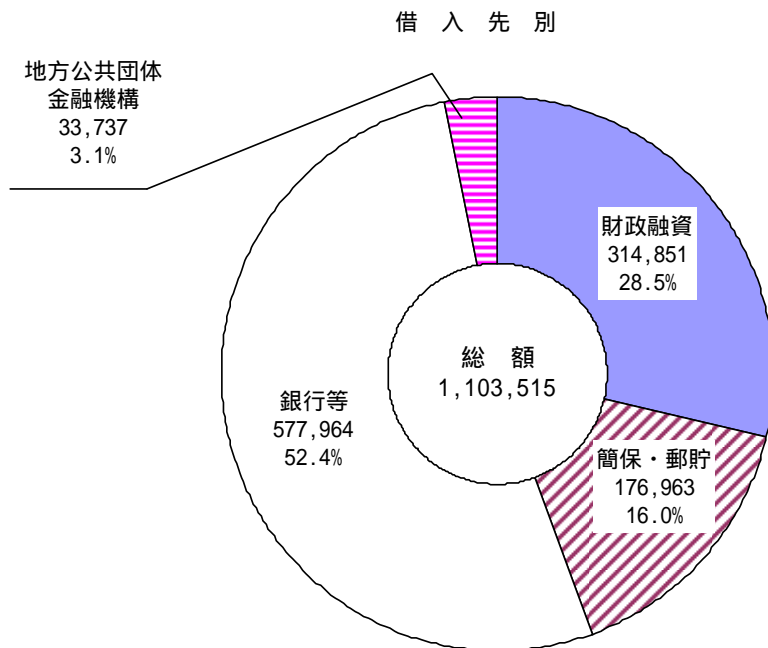
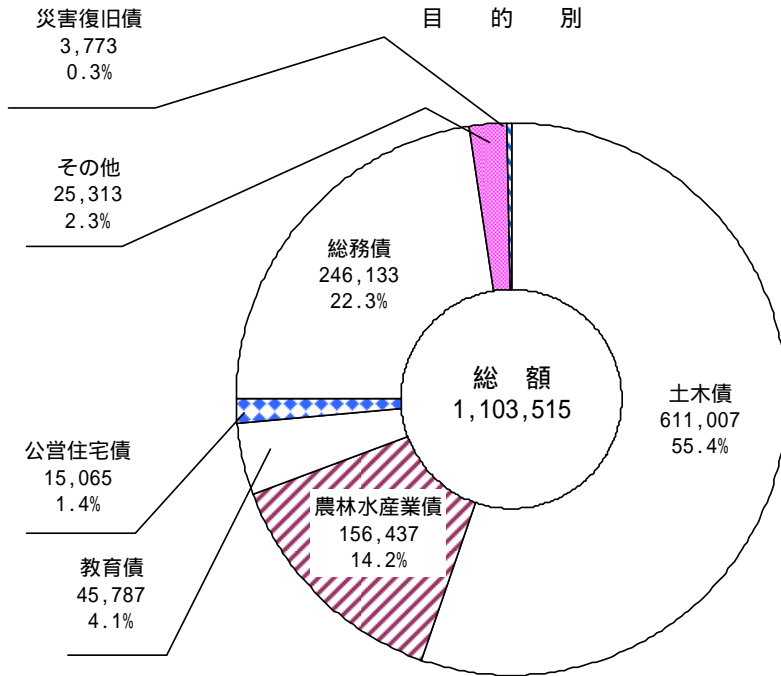
(単位：百万円)

区 分	20年度末 現在高 見込額	21年度中増減見込		21年度末 現在高 見込額
		起債発行 予定額	償 還 予定額	
一般会計債	1,103,515	146,882	100,807	1,149,590
普通債	1,099,742	146,097	100,236	1,145,603
災害復旧債	3,773	785	571	3,987
特別会計債	34,967	2,077	3,030	34,014
母子寡婦福祉資金	757	0	0	757
農業改良資金	538	58	9	586
県 営 林	2,774	36	46	2,765
長崎魚市場	443	0	152	291
小規模企業者等設備導入資金	11,289	0	897	10,392
用 地	0	629	0	629
港湾整備	16,852	1,247	1,783	16,315
流域下水道	2,315	107	143	2,279
企業会計債	1,581	740	503	1,818
交 通	1,581	740	503	1,818
港 湾	0	0	0	0
病院事業は21年度より 長崎県病院企業団へ移行				
計	1,140,063	149,699	104,340	1,185,422

また、県債現在高の内訳は次表のとおりですが、目的別にみると、道路、港湾、住宅など都市基盤の整備や地域振興を図るために充当された県債が大半を占め、借入先別にみると財政融資と銀行の資金で大半を占めています。

県債現在高の内訳（一般会計）

（平成20年度末見込、単位：百万円）



ポイント!

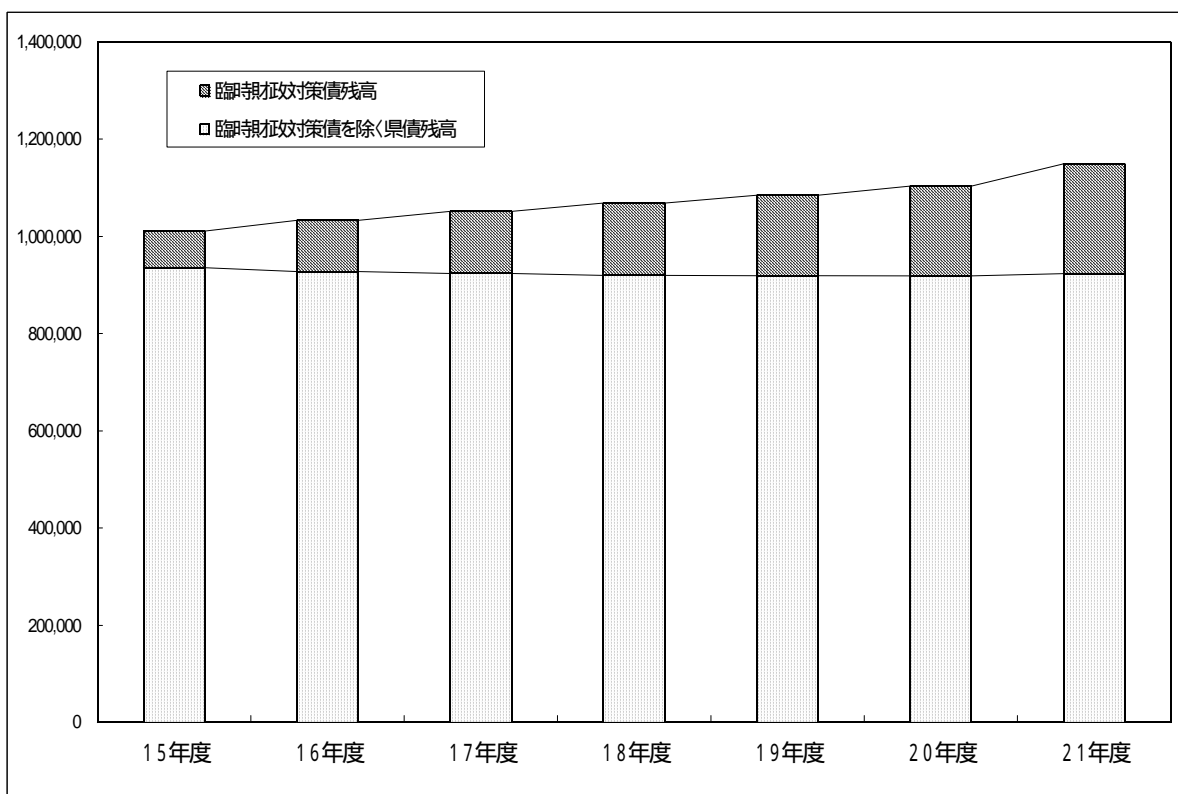
県債残高の推移

平成21年度末の県債残高は、1兆1,496億円を見込んでおり、近年増加傾向にあります
が、これは地方財源不足に対応するために発行した臨時財政対策債によるものです。

臨時財政対策債とは、地方交付税の振り替えに伴い発行が認められている特例地方債
(P.17参照)であり、平成21年度末の県債残高に2,264億円含まれていますので、これ
を除いた県債残高は9,232億円となり、ほぼ横ばいで推移していることが分かります。

さらに、県債の約6割が後年度交付税措置されるものであり、国から手当のある有利な
ものを優先的にを活用しながら県政運営を行っています。

県債残高の推移



単位:百万円

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
県債残高	1,011,115	1,032,779	1,051,680	1,068,420	1,084,474	1,103,515	1,149,590
臨時財政対策債残高	75,376	105,329	127,746	148,335	165,256	184,764	226,376
臨時財政対策債を除く県債残高	935,739	927,450	923,934	920,085	919,218	918,751	923,214

平成21年度は当初予算